

心臓再生医療のメトセラ、シリーズCラウンドにおいて 18.7億円の資金調達を完了

累計資金調達額（助成金を含む）は、46億円。心不全向け自家再生医療等製品のグローバル・エコシステム構築を通じて、心不全に対する新たな治療手段を創出

株式会社メトセラ（本社：神奈川県川崎市）は、CYBERDYNE 株式会社および同社子会社が運営する CEJ ファンド（サイバニクス・エクセレンス・ジャパン 1号投資事業有限責任組合）をリード投資家とするシリーズ C ラウンドについて、同社グループに加え、日本ライフライン株式会社、Sony Innovation Fund、および株式会社レアゾン・ホールディングスを引受先として、14.2億円を調達いたしました。これにより、シリーズ C ラウンドの資金調達総額は 18.7 億円、創業以来の累計調達額（助成金を含む）は 46 億円となりました。

本資金調達により当社は、自家再生医療等製品のグローバル・エコシステム構築に向け、事業投資を拡大してまいります。



シリーズC 総額
18.7 億円調達
累計調達額 46億円

METCELA
自家再生医療のエコシステム構築へ



本資金調達の背景

当社は、2022年4月の株式会社日本再生医療の買収を通じて、小児から大人まで幅広い心疾患に対し、患者本人の細胞を用いる「自家再生医療等製品」の開発を手掛けています。コロナ禍において、免疫抑制剤を用いない低侵襲治療というコンセプトで開発される当社の

自家再生医療等製品に対する注目はさらに高まっており、上市に向けて当社製品の治験も進捗しております。

こうした状況を踏まえ、自家再生医療等製品の商業化に向けて製品製造体制の構築を進めるとともに、研究段階にある自社創薬シーズについてパイプライン化に向けた研究開発をさらに加速することを目的として、本資金調達を実施いたしました。

主な資金使途

製品製造体制の整備を通じた商業化の準備

今後の MTC001 および小児先天性心疾患に対する自家再生医療等製品 JRM-001 の企業治験開始・商業化にむけて、外部パートナーとも連携し、製品製造体制を強化してまいります。あわせて、海外での治験開始に向けた薬事対応も開始する計画です。また、製造コストの大幅な低減に向けて、自家再生医療等製品の全く新しい製造方法の開発にも取り組みます。

人材獲得による新規パイプライン開発体制の強化

自社創薬シーズの研究開発、製造プロセスの開発、臨床開発体制の各領域において、新たな人材の獲得による研究開発の加速を目指します。また、基礎研究領域における医療機関・アカデミアとの共同研究や連携も強化いたします。

サイバニクス A 棟への入居を通じた研究開発体制の強化

今回の調達資金を活用し、CYBERDYNE 株式会社が川崎市殿町キングスカイフロントに整備する「サイバニクス医療イノベーションベース A 棟」に新たな研究開発拠点を整備することを計画しています。最新の研究設備を導入し、細胞加工施設も整備することで、自社創薬シーズの研究開発と、製造プロセス開発の体制を大幅に拡充することが可能となります。

リード投資家からのコメント

CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長 山海嘉之氏のコメント

心疾患は世界で最大の死因となっており患者数も増加傾向にあります。当社の心疾患の予防・早期発見・管理のためのバイタルセンシング技術と、メトセラ社の心臓線維芽細胞を用いた再生医療による心不全治療技術によって、心疾患に対する新領域の事業開拓が始まります。羽田空港に面するキングスカイフロントに建設された当社のサイバニクス医療イノベーションベースに集結する医療・バイオ系ベンチャーとの連携も楽しみです。誰もが高い健康度を維持しながら社会参画を実現する「健康未来社会」の実現に向けて共に歩んで参りたいと思います。

株式会社メトセラ代表取締役 Co-founder, Co-CEO 野上 健一のコメント

このたび新たに CYBERDYNE 株式会社および株式会社レアゾン・ホールディングスを株主に迎え、既存投資家である日本ライフライン株式会社および Sony Innovation Fund から追加投資を受けることで、当社の財務基盤はかつてなく堅固なものとなりました。

CYBERDYNE 株式会社の構築するイノベーション・エコシステムを活用することで、充実した体制で研究開発を進めることが可能となります。早期の承認申請・グローバル展開にむけ、当社の事業を推進してまいります。

引受先一覧（順不同）

CYBERDYNE 株式会社

CEJ ファンド(サイバニクス・エクセレンス・ジャパン 1 号投資事業有限責任組合)

日本ライフライン株式会社

Sony Innovation Fund

株式会社レアゾン・ホールディングス

CYBERDYNE 株式会社について

サイバーダインググループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした健康未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT 産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT 化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI 化された HAL[®] に代表されるサイバニクスシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやスパコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全ての IoH/IoT ビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI 処理、クラウド化等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。

ウェブサイト：<https://www.cyberdyne.jp/>

日本ライフライン株式会社について

日本ライフライン株式会社は、心臓循環器領域の医療機器を専門に扱う商社として1981年に設立され、現在では、海外の先端的なメーカーの製品を日本に導入する商社機能と、医療現場のニーズを反映した自社製品の開発、製造を行うメーカー機能を併せ持ち、独自のビジネスモデルを築いています。日本全国を網羅する営業拠点を有するとともに、心臓循環器領域の医療技術をリードする医師や医療機関との緊密なネットワークを構築しており、日本の医療現場に最新最適な医療機器を提供することを目指しています。

ウェブサイト：<https://www.jll.co.jp/>

ソニーベンチャーズ株式会社について

ソニーベンチャーズ株式会社は、ソニーグループが注力する分野や今後大きな成長が期待できる分野における、Sony Innovation Fund から投資を受けた様々な成長ステージのスタートアップをサポートしています。また、投資に際してはESGを重視するとともに、投資先のESG取り組み支援にも尽力しています。さらに、ソニーグループ内リソースを活用して優れたスタートアップとの協業をグローバルに推進し、よりオープンなエコシステムの創出を目指しています。

ウェブサイト：<https://www.sonyinnovationfund.com/jp/>

株式会社レアゾン・ホールディングスについて

株式会社レアゾン・ホールディングスは、「世界一の企業へ」を掲げ、「アドテク事業」、「ソーシャルゲーム事業」、「メディア事業」、「フードテック事業」の4つの領域を中心に事業を展開しています。

また、多様な事業領域への投資を通じ、新たなネットワーク構築を目指しており、各事業領域同士で事業シナジーを高めることで、他社にはない事業展開や新規事業を創出し続けます。

ウェブサイト：<https://reazon.jp/>

株式会社メトセラについて

メトセラは、既存治療による効果が不十分な慢性疾患に対して、線維芽細胞および幹細胞を用いた新たな治療法を提供することを目指す臨床開発ステージのスタートアップです。2016年の設立以来、心臓線維芽細胞（VCAM1 陽性心臓線維芽細胞）をはじめとする自社創薬シーズの研究開発に取り組んでいます。また、本年4月には、小児先天性心疾患に対する自家細胞を用いた再生医療等製品 JRM-001 を開発する株式会社日本再生医療を子会社しています。

JRM-001 は、機能性単心室症の患者を対象とした第3相企業治験を実施中です。また、心臓線維芽細胞は、同じく自家細胞に投与用の専用カテーテルを組み合わせたコンビネーション製品 MTC001 について、現在、筑波大学附属病院において、慢性虚血性心不全患者に対する第I相医師主導治験を実施中です。

ウェブサイト：<https://www.metcela.com/>